

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-41805

(43)公開日 平成6年(1994)2月15日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	府内整理番号	F I	技術表示箇所
A 41 H 3/00	D	2119-3B		
3/04		2119-3B		
43/00	D	2119-3B		
G 06 F 15/21	3 5 0	7052-5L		
15/64	4 5 0	E 9073-5L		

審査請求 未請求 請求項の数3(全8頁)

(21)出願番号	特願平4-190733	(71)出願人	000005223 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地
(22)出願日	平成4年(1992)7月17日	(72)発明者	首藤 文子 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社内
		(72)発明者	枝並 隆文 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社内
		(74)代理人	弁理士 穂坂 和雄 (外2名)

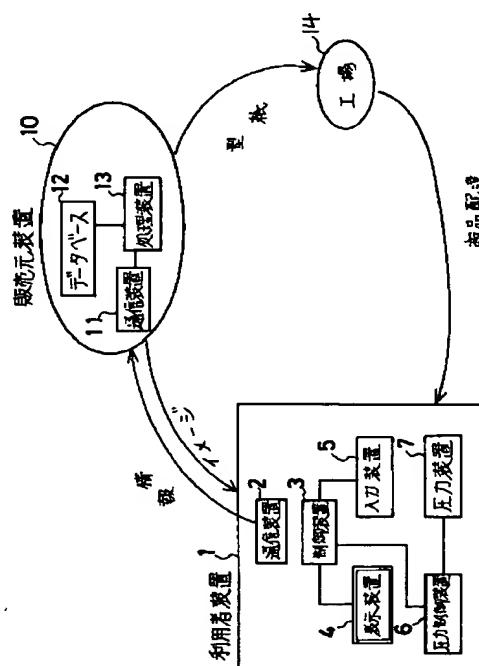
(54)【発明の名称】 コーディネート通信装置

(57)【要約】

【目的】本発明は衣服の商品の販売をネットワークを介して行うコーディネート通信装置に関し、カタログ等を見て購入したい利用者が実際に衣装を試着した時のイメージを販売元から利用者に提供することを目的とする。

【構成】利用者側に、ネットワークを介して通信を行う通信装置、該通信装置を介して販売元に送信する利用者の個人データ及び商品を指定する情報の入力装置、該送信情報に対応して販売元から送られるデータ及びイメージ情報を表示する表示装置、及び利用者が着用して試着感覚を与えるための圧力装置と圧力制御装置を備える。販売元は、利用者側から送られた個人データ、指定された商品に対応するイメージを作成して送信し、試着感覚を与える圧力装置を制御するデータを送信する処理装置を備え、利用者側は前記圧力装置による試着感覚に応じて販売元に対しサイズの修正を入力装置から指示するよう構成する。

本発明の原理構成図



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 衣服の商品の販売をネットワークを介して行うコーディネート通信装置において、利用者側に、ネットワークを介して通信を行う通信装置、該通信装置を介して販売元に送信する利用者の個人データ及び商品を指定する情報の入力装置、該送信情報に対応して販売元から送られるデータ及びイメージ情報を表示する表示装置、及び利用者が着用して試着感覚を与えるための圧力装置と圧力制御装置を備え、販売元は、利用者側から送られた個人データ、指定された商品に対応するイメージを作成して送信し、試着感覚を与える圧力装置を制御するデータを送信する処理装置を備え、利用者側は前記圧力装置による試着感覚に応じて販売元に対しサイズの修正を入力装置から指示することを特徴とするコーディネート通信装置。

【請求項2】 請求項1において、利用者側の入力装置から個人データとして利用者の各部のサイズと顔の画像を入力して通信装置から送信し、販売元は、前記の個人データに基づいて利用者の顔を含む全体のイメージを作成して利用者側へ送信することを特徴とするコーディネート通信装置。

【請求項3】 請求項2において、販売元は、利用者側からの衣服を指定する情報を受け取ると、上記の全体のイメージに指定した服を着せたイメージを作成して利用者側へ送信し、利用者側は表示装置により該イメージを表示することを特徴とするコーディネート通信装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は衣装等のサイズを遠隔から行うためのコーディネート通信装置に関し、特に実際の製品を試着しなくても本人または目的の人物が試着した時のイメージ、感覚を実感することができ、必要に応じて型紙を簡単に作成でき、直接店に行かなくてもオーダ、またはレンタルできるコーディネート通信装置に関する。

【0002】 近年、カタログや広告またはテレビ等の画像を利用した通信販売システムが普及し、利用客も増大しつつある。また、消費者の需要も多様化し、オーダメード、各種の行事用の貸衣装の利用も少なくない。

【0003】 利用者の観点にたつと、衣類等の商品を購入またはレンタルする際、判断の材料として実際に試着した時の感覚に近いイメージを具体的につかめることが望まれている。

## 【0004】

【従来の技術】 従来の通信販売では、消費者がカタログ、広告、またはテレビ等で宣伝する画像を見て商品を選び、購入またはレンタルしたいものがあれば、電話やオーダーシートに記入して取り扱い店に注文し、取り扱い店で処理を行い、注文した人に商品を届けるという方法がとられていた。また、オーダメードの場合は、生地

2

とデザインを選び本人のサイズを測ってから型紙を作成し製品化するという手順がとられていた。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】 従来の通信販売では商品を受け取ってから実際に試着した時、購入前のイメージとのギャップによる商品の交換、返品、更にサイズの不一致による補正等、さまざまな問題が発生している。また、オーダメードの場合、イメージをつかみにくく、型紙の作成に時間がかかるという問題があった。

【0006】 本発明はカタログ等を見て購入したい利用者が実際に衣装を試着した時のイメージを販売元から利用者に提供することができるコーディネート通信装置に関する。

## 【0007】

【課題を解決するための手段】 図1は本発明の原理構成図である。図1において、1は利用者の家に設けられる利用者装置、2～7は利用者装置を構成する各装置であり、2は公衆網を介して販売元と情報やイメージの通信を行う通信装置、3は各部の制御を行う制御装置、4は表示装置、5はデータを入力するキーボードや顔画像を入力するビデオカメラを含む入力装置、6は利用者が実際に試着した時の感覚を発生するための圧力を制御する圧力制御装置、7は利用者が身体に着用して圧力制御装置6により圧力が制御されフィットするか否かを感覚させる圧力装置である。

【0008】 10は販売元に設けられた販売元装置であり、11～13は販売元装置を構成する各装置であり、11は各利用者と通信を行う通信装置、12は生地、デザイン、個人情報等のデータが格納されたデータベース、13は利用者から入力する情報を受け取って、要求に基づいてデータベースを用いてイメージの作成や、型紙の作成等の処理を行う処理装置である。

【0009】 本発明はカタログに基づいて利用者が注文を行う時に、個人データやイメージを送信すると、利用したイメージの画像を送信すると共に試着した感覚を発生するデータを送信して、利用者は画像により試着したイメージを見ると共に試着感覚を実感するものである。

## 【0010】

【作用】 利用者はカタログを見て入力装置5を操作して通信装置2から公衆網（ISDNを含む）を介して販売元装置10を呼び出し、利用者の特徴を表すデータや自分の画像等の個人情報や希望する商品に関する情報を入力する。販売元装置10では通信装置11から処理装置13を起動して、希望する商品に関する情報をデータベース12から取り出して個人情報に商品情報を重ねて送信する。この情報には自分の顔と商品を組み合わせたイメージ情報及び商品に関する情報が含まれており、この情報が利用者装置1の通信装置2で受け取られ制御装置3の制御により表示装置4に表示される。利用者は受け取った画像やデータを見て、自分の気に入った商品（衣

## 3

類)を探して選択する。これを試着したいと思ったら、圧力装置7を身につけて選択した情報を販売元装置10へ送信する。

【0011】販売元装置10では利用者からの選択情報を受け取ると処理装置13によりデータベース12から選択された商品(衣類)のサイズに応じて、これにフィットする身体の各部の圧力データを取り出して利用者装置1へ送信する。利用者装置1では制御装置2から圧力制御装置6に受け取った圧力データにもとづいて、利用者が着用した圧力装置7の各部に空気の圧力を発生する。利用者はこの圧力装置7を着用して実際に試着したような感覚を体験し、身体の各部で受ける圧力によりサイズが合わないか合っているかを判別し、必要に応じてサイズの変更、補正の要求等を入力装置5から入力して販売元装置10へ送信する。販売元装置10はこれに応じてサイズを修正して、対応する圧力データを利用者装置1へ送る。

【0012】こうして、サイズが合うと販売元装置10にそのサイズによる商品を注文すると、販売元装置10は注文された商品に関する情報に基づいて型紙作成をして、衣類の工場14に対し作成依頼をする。その後工場で作成された商品は利用者に送られる。

## 【0013】

【実施例】図2は実施例の構成図である。図2において、20～28は利用者の家に設けられた装置であり、20は公衆網を介した通信を行う通信装置、21は処理装置、22は入力制御装置、23はキーボードとテレビカメラ等の画像を入力できる入力装置、24は描画装置、25は液晶、CRT等の表示装置、26はセンサー制御装置、27は圧力調節装置、28は圧力装置である。なお、圧力調節装置27は利用者が試着感を得るために着用して選択したサイズがフィットするか否かを判別するために、圧力装置28へ指定されたサイズに対応する圧力をかけるために設けられている。

【0014】29は公衆網(ISDNまたはデータ交換機等)、30～37は販売元に設けられた各装置であり、30は通信装置、31～34は各データベース35～37を使用したCAD装置を構成し、31は処理装置、32は合成装置、33は形状計算装置、34は画像生成装置、35は商品の生地(素材、色)に関する情報が格納された生地データベース、36は各商品のデザイン情報が格納されたデザインデータベース、37は個人情報が格納される個人情報データベースである。この個人情報データベース37は、最初にはデータが格納されていないが利用者の注文により順次登録される。更に、38はCADにより作成された衣類の内容を規定するデータに基づいて衣類を製造するCAM(Computer Aided Manufacture)、39は製造された商品(製造された衣類)である。

【0015】図3は実施例の動作シーケンスであり、図

## 4

2の動作を図3を参照しながら説明する。利用者がカタログを見て、入力装置23を操作して公衆網29を介して販売元の通信装置30に向けて発信してから、B(バスト)、W(ウェスト)、H(ヒップ)等の個人データや、自分の全身を写した写真または実際の全身をその場でテレビカメラで撮影した画像を入力装置23から入力して、販売元へ送信する(図3のa)。これを受け取った販売元では、処理装置31により個人情報データベース37にそのデータを登録する。

【0016】次に、個人情報データベース37の個人情報に基づいて画素生成装置34(または形状計算装置33)によりその利用者に対応するイメージを作成して通信装置30から送信する。利用者側ではこれを通信装置20で受け取り、処理装置21を介して描画装置24で画像を作成して表示装置25に個人情報に対応する利用者のイメージ(全身の姿)を表示する(図3のb)。次いで、利用者がカタログに載っている各種の商品の中から服(デザイン、生地、サイズ)を選択して入力装置23に入力すると、この選択情報は販売元へ送信される(図3のc)。

【0017】販売元ではこれを受信すると、合成装置32により要求された生地とデザインを持つ商品のイメージを生地データベース35及びデザインデータベース36から取り出して、合成して服のイメージを合成する。次に服のイメージと個人情報データベース37に入っている個人情報を用いて形状計算装置33により、合成装置32で合成された服を個人のサイズに合わせて計算して、画素生成装置34において形状計算装置33のデータを基に個人情報データベース37から読み出した個人のイメージに合わせて画素を生成する。これらの処理により、利用者の身体に要求した商品を着せたイメージを表す画素が生成され、利用者に対し送信される。利用側ではこのイメージデータが描画装置24に入力されて、イメージが表示装置25に表示される(図3のd)。

【0018】これを見た利用者が、実際にこの商品を試着した時の感覚を把握するため、圧力装置(その構成、機能は後述する)28を着て、販売元へ通知する(図3のe)。販売元では、これを受け取ると、処理装置31において、注文された服のサイズに合わせて圧力部へ加えるべき圧力を表す情報をデザインデータベース36から取り出して通信装置30から利用者側へ送信する。利用者側でこれを受信すると、処理装置21は描画装置24を介して表示装置25に表示すると共に、センサー制御装置26を介して圧力調節装置27へ入力する。圧力調節装置27はこれにより圧力装置28を調整して、販売元から指定された値になるよう圧力を制御する(図3のf)。

【0019】これに対し利用者は圧力装置28の圧力が身体にフィットする程度であれば良いが、圧力の強い部分がある場合(選択した服の特定部分のサイズが小さい

場合)はその部分のサイズを大きくするよう入力装置23から入力し、圧力が全くない部分がある場合(該当部分のサイズが大きい場合)はその部分のサイズを小さくするよう入力装置23から入力して修正を指示する(図3のg)。

【0020】この修正が終了することにより注文すべき服のデータが販売元で得られ、それにより手数料等(服の代金を含む)を販売元から利用者へ通知すると表示装置25に表示される(図3のh)。これを見て、購入依頼を利用者が入力装置23から行う(図3のi)。販売元の処理装置31でこれを識別すると、利用者が指定した服の生地、デザイン、個人情報により各部のサイズ(修正された値)等の各データがCAM38に供給される。これによりCAM38により服を作成し、作成された商品は利用者へ配達される。(図3のj)試着した感覚を把握するための装置の構成例を図4に示す。

【0021】最初に図4の構成例を説明する。図4の26~28は図2と同様にそれぞれ、センサー制御装置、圧力調節装置及び圧力装置を表し、この例では圧力装置28は紐(またはロープ)で構成する。この例では、利用者は個人データとカタログデータを販売元へ送信すると、販売元は利用者が注文した服のサイズに対応して指定箇所(B、W、H等)の円周データ(服のサイズに対応した1回りの長さ)を取り出して、利用者へ送信する。利用者は販売元から指定された身体の部分(例えばバスト、ウエスト等)に圧力装置(紐)28を装着し(紐を巻き付け)て、入力装置(図2の23)から開始を指示すると、センサー制御装置26を介して圧力調節装置27が販売元から指示された円周となるように圧力装置(紐)28の長さを制御する。この時、センサー制御装置26は紐の圧力が適正であるか制御する。従って、販売元から指示された円周データの長さで利用者がフィットした感じを受けた場合は、適正なサイズと判断し、強い圧を感じる場合は、指定した商品の該当部分のサイズが小さ過ぎることが分かる。さらに、全く圧力を感じない場合は、サイズが大き過ぎることが分かる。このような動作を、身体の主要な各部のサイズに関して行って、必要な場合、修正データを販売元へ送信する。

【0022】図4に示す圧力装置の例では、紐を身体の指定部分に巻き付けて調整された長さでフィットするか否かを判断するが、他の原理により判定する装置を用いることもできる。

【0023】図5は試着した感覚を把握する装置の他の構成例である。図5において、50は例えば、ウエットスーツのような空気等を通さない素材により作られた上・下の衣類により構成した圧力装置である。この圧力裝

置50は、全体が小さい矩形の領域51に仕切られ、各領域は表面と裏面の素材で挟まれて袋のような形態を持ち、空気等の流体を供給する開口部52が設けられている。この開口部52はそれぞれ身体の部分毎(肩、胸、腹部、腰等)に対してそれぞれ共通の管(パイプ)53に接続されている。

【0024】この圧力装置50を利用者が着用した状態で、圧力調節装置27(図2)が販売元からの指示された身体の各部のデータに対応する流体(空気等)の圧力を各部の管53に供給する。これにより各部の領域51は流体の圧力に応じて表面と裏面間隔が離れたりくついたり(膨張した状態、膨張しない状態)となる。膨張した場合は利用者の該当部分に圧迫感をあたえて、指定した商品のサイズが小さいことを表し、圧迫感が全くなく利用者の身体に対し隙間が空く場合はサイズが大き過ぎることが分かる。これらの何れにも該当しない場合は、身体にフィットしたものと判断できる。

#### 【0025】

【発明の効果】本発明によれば通信販売において、衣類等の購入を検討する時に実際に試着したときのような感じで選べて、いろいろとコーディネートでき自分のサイズに合うもので気に入った服を選択することができ、購入後のトラブルも減少し、気軽に通信販売を利用することができる。また、オーダーメードの場合にも仕上がり時のイメージを伝えることができ、納得がゆく契約ができる、製造用のデータや型紙を速やかに作成でき、商品に対する信頼度も向上し、顧客も安心して注文ができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の原理構成図である。

【図2】実施例の構成図である。

【図3】実施例の動作シーケンスである。

【図4】試着した感覚を把握する装置の構成例である。

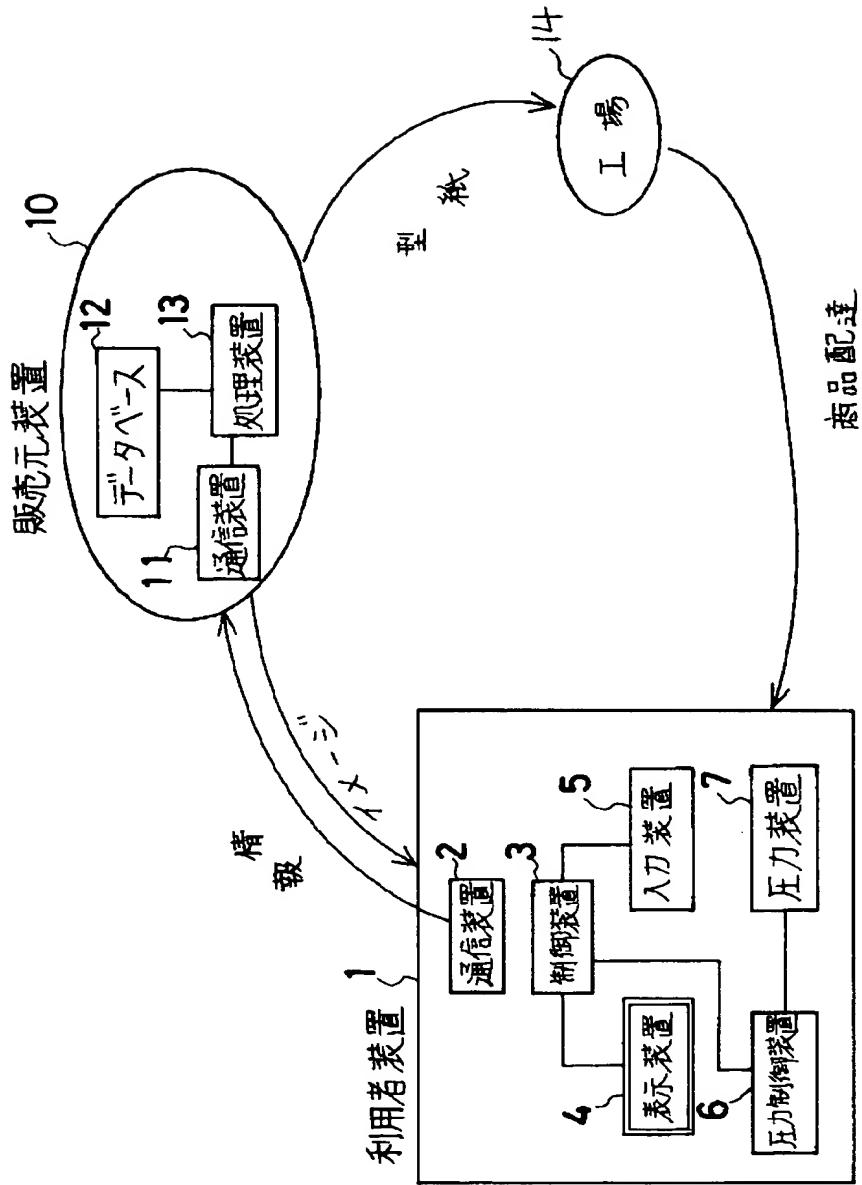
【図5】試着した感覚を把握する装置の他の構成例である。

#### 【符号の説明】

- |    |        |
|----|--------|
| 1  | 利用者装置  |
| 2  | 通信装置   |
| 3  | 制御装置   |
| 4  | 表示装置   |
| 40 |        |
| 5  | 入力装置   |
| 6  | 圧力制御装置 |
| 7  | 圧力装置   |
| 10 | 販売元装置  |
| 11 | 通信装置   |
| 12 | データベース |
| 13 | 処理装置   |

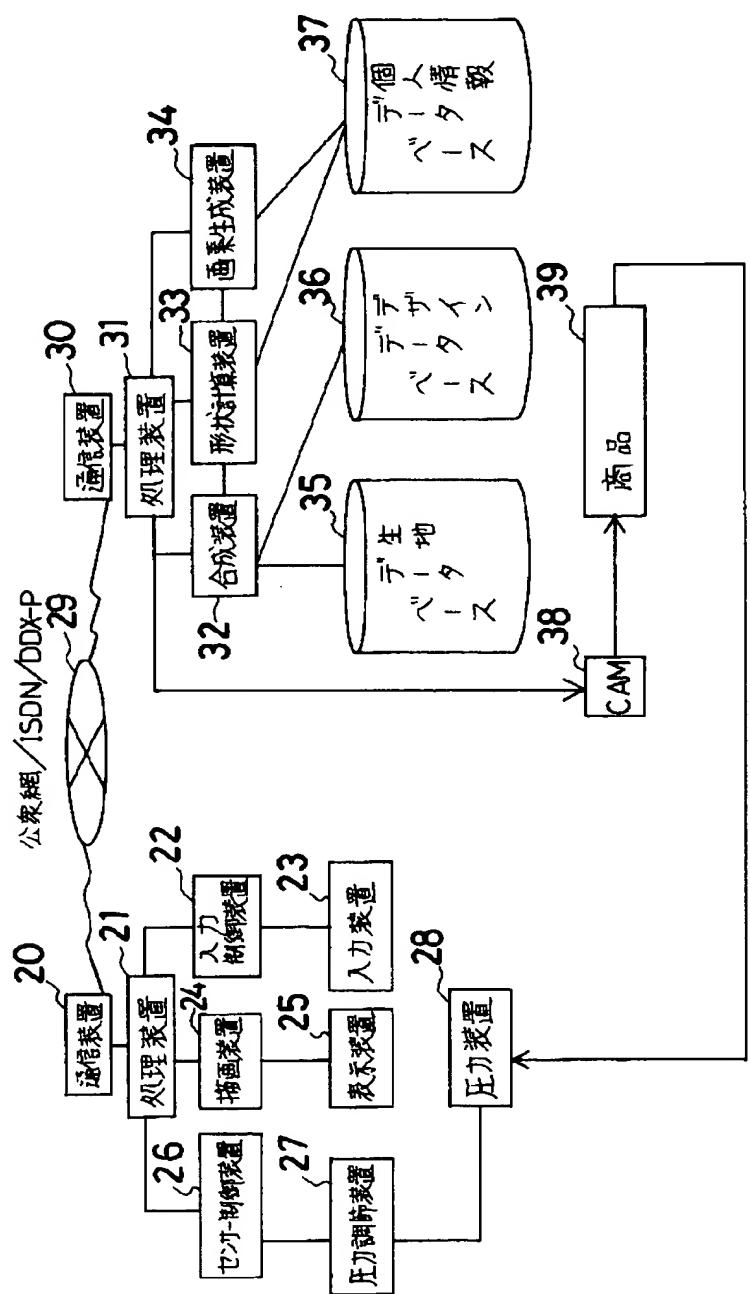
【図1】

## 本発明の原理構成図



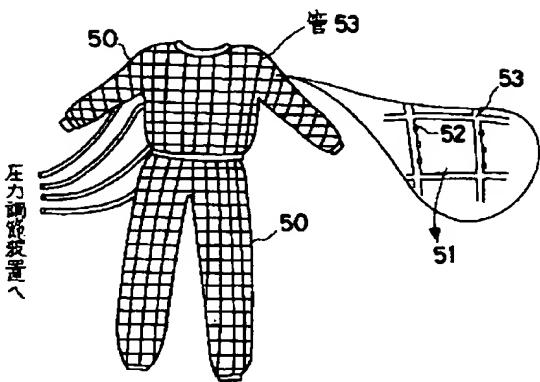
【図2】

## 実施例の構成図



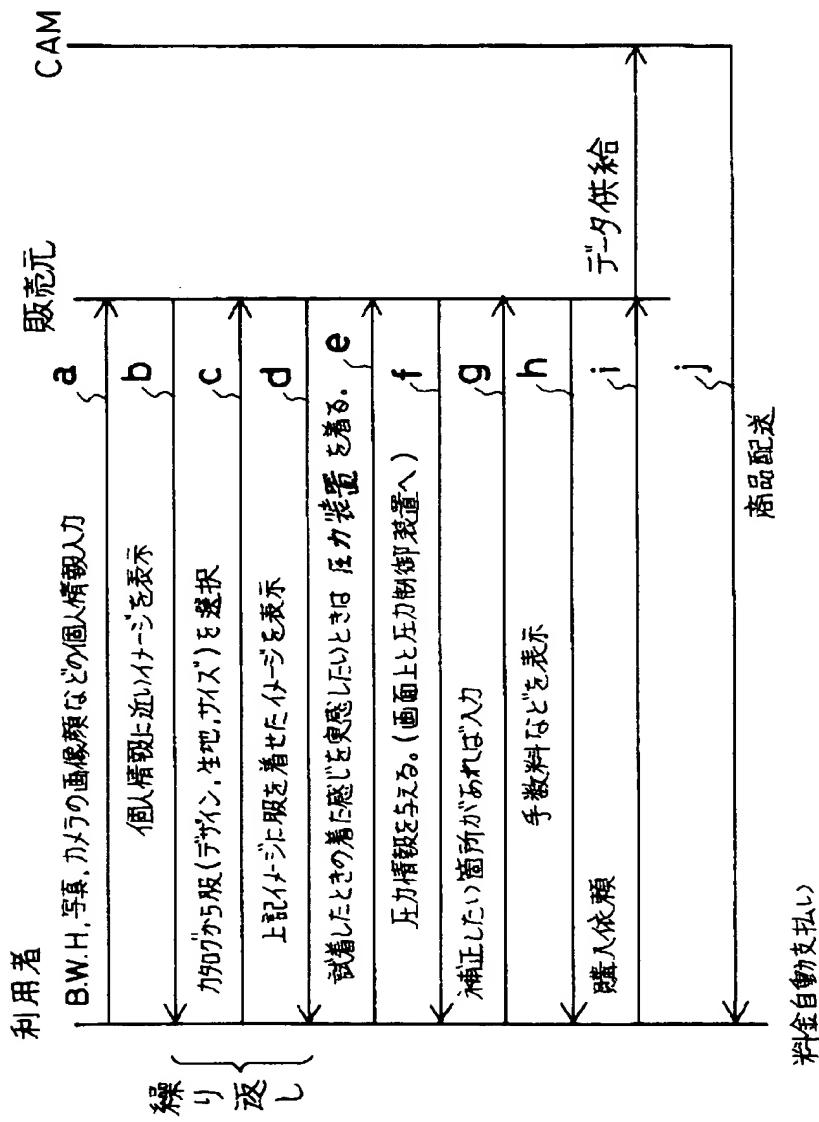
【図5】

試着した感覚を把握する装置の  
他の構成例



[図3]

## 実施例の動作シーケンス



【図4】

## 試着した感覚を把握するための装置の構成例

